

# 28P-am08S

食用素材からの抗 Dengue ウイルス成分の探索・性状解析

○安倍 智子<sup>1</sup>, 左 一八<sup>1</sup>, VIKINESWARY SABARATNAM<sup>2</sup>, 鈴木 隆<sup>1</sup>(<sup>1</sup>静岡県大  
院薬,<sup>2</sup>マラヤ大)

【目的】 Dengue 熱および致死率の高い Dengue 出血熱は熱帯・亜熱帯地方を中心として広く流行している感染症である。Dengue ウイルスの 4 つの血清型の間で交差防御免疫が成立しないこと、他の血清型による再感染時の免疫応答が Dengue 出血熱の発生リスクを上昇させていると考えられていることなどから Dengue 熱・Dengue 出血熱に対する有効なワクチンは未だ臨床応用されていない。また、有効な抗ウイルス薬も用いられておらず、有効かつ安全な薬剤の開発が急務である。Dengue ウイルス感染はウイルス膜上 E タンパク質が宿主細胞表面上の受容体に結合、ウイルス膜と細胞膜が融合、細胞内に侵入することで開始される。本研究では Dengue 熱流行地域である東南アジアの食用素材からの水抽出物について検討し、抗 Dengue ウイルス感染成分を含む素材の探索・性状解析を行った。

【方法】 抗 Dengue ウイルス感染効果は、マレーシアに生息するキノコ抽出物を用いた。異なる 4 種類の水抽出法で調製された抽出物について、focus forming assay、RT-PCR、real time-PCR により抗ウイルス効果を検討した。さらに、抽出物の感染阻害機構の検討を行った。

【結果と考察】 Dengue ウイルス感染阻害効果を持つ食用素材を見出した。ウイルス感染阻害効果を示した食用素材中に感染阻害成分を有する有用な物質が含まれている可能性が示唆された。